



2015年10月15日

各 位

会 社 名	キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 社 長 穂川 稔 (コード番号 4569 東証第1部)
問 合 せ 先	コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電 話	03-3525-4707

杏林製薬株式会社が共同販売契約を締結する  
アレルギー性疾患治療薬「デスロラタジン」について  
MSD 株式会社が承認申請

キョーリン製薬ホールディングス株式会社の子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、社長：宮下三朝、以下杏林製薬）が共同販売に関する契約を締結しているアレルギー性疾患治療薬「デスロラタジン（一般名）」について、契約先である MSD 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：トニー・アルバレス、以下 MSD）は、本日、製造販売承認申請を提出しました。

「デスロラタジン」については、杏林製薬と MSD の関連会社との間において、2014年11月に日本国内における共同販売に関する契約を締結しており、製造販売承認取得・薬価収載後に杏林製薬と MSD で併売いたします。

「デスロラタジン」は、新規有効成分の第二世代ヒスタミン H1 受容体拮抗薬です。国内では「アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒」の適応症で申請していますが、海外では米国や欧州など世界 120 カ国以上で承認されています。

杏林製薬は、本承認申請によって重点領域である呼吸器・耳鼻科領域での製品ラインナップを拡充させ、さらには同領域でのプレゼンスの向上を図ります。

MSD は、革新的な医薬品の開発・提供を通じて、日本の患者さんの QOL 向上に取り組んでいます。今回の承認申請により、呼吸器・アレルギー領域において更なる取り組み強化を行っていきます。

以上